□					
覧					

丘珠空港ニュース

第8号(平成22年7月15日) 発行: 札幌市市民まちづくり局

総合交通計画部空港担当課

電話:211-2378

新たな出発~ANA撤退~ 丘珠空港

◆HAC便 好調な滑り出しで多くの満席便も

7月からのANA路線の新千歳空港移転に伴い、1日 7 往復と大幅に減便となった丘珠空港。便数は減り寂し さも残る中、初日は多くの満席便が出るなど好調なスタ ートとなりました。一方、ANA便の最終日となった6 月30日は、朝から多くのファンが集まり、別れを惜しみ ながらも大きな拍手で見送りました。

7月1日、前日までと違い静 かな雰囲気の空港ビル内。こ の日から丘珠空港の発着は北 海道エアシステム(HAC)1 社のみとなりました。函館便1 日4往復、釧路便1日3往復の計



職員に見送られ出発するANA最終便

7往復のみと便数は減りまし たが、各便の出足は好調で、 多くの満席便が出ていまし た。特に函館便は平均搭乗率 も80%を超え、利便性の高さ を物語る結果となりました。

現在、HACは5年連続の 経常赤字を出しており、経営 分析を行い今後このまま新千 歳を拠点として続けていくの か、丘珠に拠点を移すのか、 検討を行っています。



ANAの表示もなくなり時間帯によっては 閑散とした光景も見られた出発カウンター

道内航空ネットワークの中 核を担う丘珠空港の大切な機 能を維持していくためにも、 またHACの経常赤字を解消 していくためにも、今後のH ACの丘珠集約は非常に大切 なことであると札幌市も考え ています。

現在、こうしたことについ ての課題解決に向け、北海道 と札幌市で協議を行っている ところです。

◆多くのファンが集まりANAにお別れ

6月30日ANA丘珠空港運 航最終日、空港ターミナルビ

ル送迎デッキには、数多くの

航空ファンが集まり、日本近 距離航空時代から約40年間 丘珠空港を拠点に運航してき たANAグループに別れを惜 しんでいました。 当日は、一部ダイヤが乱れ

たものの、最終的には定刻運 航となり、最後の出発便(函 館行き)には、ANA関係ス タッフが駐機場に一列に並び 機体を見送り、丘珠空港ラス トフライトを終えました。

父の日イベント(6/20)も好評

◆次回のイベントは7月25日の釧路産直市の予定

札幌丘珠空港ビルでは、6 月20日父の日イベントとし て、お父さんの似顔絵うちわ 制作及び格納庫見学会、函館 直送産直市や空港職員による マリンバロビーコンサートを 開催する等、たくさんの人で 賑わいました。次回は7月2 5日に釧路直送産直市を開催 予定です。

> イベント等のお問い合わせ 札幌丘珠空港ビル㈱ Tel 011-785-7871

多くの方に丘珠空港の魅力を知っていただくために

市役所ロビーパネル展の様子

ビジネスや医療、また観光 など道民の生活の足として重 要な役割を担っている丘珠空 港が、今後も多くの方々に利 用されるように、市役所ロビ ーにおいて同空港の利便性や

◆市役所ロビーでパネル展が開催されました

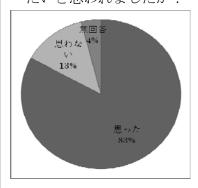
6月21日(月)~23日(水)の3日間、札幌市役所の1階 ロビーにおいて「丘珠空港パネル展」が開かれ、空港 の利便性や就航先の情報について多数の来場者の方に 知っていただきました。アンケートからは、今まで利 用したことはなかったが、今後利用してみたいという 意見を数多くいただきました。

アクセス方法また就航先の観 光情報などを紹介するパネル 展を開催いたしました。

3日間で約800名の方々に 来場していただくとともに、 多くの方がアンケートにもご 協力してくださり、丘珠空港 に関心を持っていただくこと ができました。

アンケート結果

◆今回のパネル展をご覧になって丘珠空港を使ってみたいと思われましたか?



◆東区さわやか健康まつりではPRグッズを配布

6月27日、晴天の下、東区モエレ沼公園で開催された「第11 回東区さわやか健康まつり」の会場において、丘珠空港の地



東区さわやか健康まつり開会式

元である東区町内会の大勢の 方々に、丘珠空港をPRする リーフレットとメモ帳を配布 し、丘珠空港の利便性をあら ためてPRさせていただきま した。

◆7月29日までパセオ内「食と観光」情報館でも

観光と食の魅力の発信拠点である『北海道さっぽろ「食と観光」情報館』(JR札幌駅構内)においてパネル展を開催

しております。お近くにお立 ち寄りの際はご覧ください。 (7/23.24は他の展示があるた め一時休止となります)

8月はドクタージェットが飛行

◆航空医療体制の充実に向けた1ヶ月間の試験運航

8月1日(日)~31日(火)の1ヶ月間、緊急医療搬送を目的としたドクタージェットの試験運航が、北海道航空医療ネットワーク研究会により実施されます。

試験運航に使われるのは、「セスナ560サイテーションV」という患者を含め5人乗りの小型航空機。これまでのドクターへリでは飛行範囲や飛行

条件が限られてしまい、全道をカバーできないなどという 課題があったが、こうしたことの解決に向けた研究が今回の目的とのことです。

編集後記

ANAの撤退やHACの 経営問題など、寂しい話題 も多いですが、札幌かと では、パネル展を始めた様の 後の利用促進に向けた様な な取組みを続けていきた と思います。よろしくお いします。(担当:鈴木)



さっぽろ市 05-F00-10-506 22-5-158